

平成28年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 白野江 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成28年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立への取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	53.92
本市	16.78	19.79	31.93	41.14	51.08	9.41	151.32	23.82	53.77

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	55.54
本市	16.48	18.34	35.88	39.07	40.17	9.67	145.18	13.97	54.74

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

○男子は1週間の総運動時間が60分を越えている児童が100%を占め、これは全国の結果より大幅に上回っており、日ごろからかなりの運動量を確保しているといえる。また、体育の授業を楽しんでいると感じるとともに、健康と食事・睡眠の関係が大切であると考えており、健康や体力の向上に関してとても意識が高い。

○女子は全国の結果と大きな差はないが、男子と同様に体育の授業は楽しいと全員が答えている。また、健康と運動・睡眠の関係を大切と考えており、とても意識が高い状況である。

○普段の授業でのめあての提示やふりかえりに関しては、男女とも全国平均より低く、今後授業の改善を要する。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

○体育の時間の準備運動に「ジャンプ体操」を取り入れた。しかし、全学年で必ずしも取り組んでいるわけではないが、別の運動(鬼ごっこなど)を導入して準備運動に代えている学年もみられた。今後「ジャンプ体操」の定着をはかっていきたい。

○11月には全校で2週間にわたって5分間走を実施。12月の持久走大会に向けて全校児童で取り組んだ。その結果、前学年のときよりも大幅に記録が向上し、体力アップにつながった。

○新体力テストの結果を分析し、児童一人一人の個別指導に生かした。その結果、児童が自分の課題として体力向上を考えるようになった。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

○年間を通して「晴れの日(1校1取組)」を実施した。朝休みや中休み・昼休みはサッカー・バスケットボール・ドッジボール・輪車・鬼ごっこ・フリスビーなどで遊んでおり、日々の遊びの中で体を動かすことで体力向上を目指してきた。

○保護者へは学校だよりや学年通信を通して児童の様子を伝えるとともに、「生活ふり返りカード」で自分の生活習慣や運動習慣を見直し、保護者とともに考え実践するよう学校から働きかけた。

○新体力テストの個人の結果を返却したときに、家庭で取組めるおすすめの運動を紹介した。

○今後小中が連携して体力向上にあたるのが課題である。